

学校を好きになること・・・それには

校歌を歌え、歌え!!

校歌 「こころの花を」

岡田刀水士 作詞

平井康三郎 作曲

一

かがやく稲よ ふるさとよ
雀おどしも こころよし
ひときわ白く 大ぞらに
われらが仰ぐ 学び舎は
未来の夢を ひろげたり

二

いまこそからだ きたえつつ
知識と技を 磨くとき
凍れる窓や 暑き庭
希望を友と かたるなり
楽しきことば 積るまで

三

赤城や榛名 目にもえて
季節の愛を おしえたり
わかばのかおり稲妻よ
いざいざ吾ら ならいつつ
心の花を ひらかせん
ああ 中尾 中尾
伸びゆくわれらの中学校

みんなで「いい学校」をつくろう!

入学して2週間あまりが過ぎました。遅刻をする人はいないし、あいさつもよくできます。また、掃除や給食当番もしっかりできています。授業も、手を挙げたり発言したりする人が多く、中学1年生のスタートとしてはとても良いと思います。

問題はこれからです。せっかく向上心を持って中学校生活が始められたのに、ちょっとしたつまずきや失敗、また、なまけ心から自分や周りを崩していつてしまつては台無しです。まずは自分に責任を持ち、友を思い、学校を愛することで、「中尾中はいいい学校だよ!」と誇れるようにしましょう。

縦と横とをつなぐ「連帯」のあかし

みなさん、校歌はもう覚えましたか?校歌は、先輩が歌い続けてき、私たちが歌い、そしてまだ見ぬ後輩たちがずっと歌い継ぐものです。つまり歴史の縦糸となっています。

一方、みなさんが連帯感を感じる時はどんな時でしょう。みんなで何かするときですね。校歌は、みんなで歌う時、横のつながりを作り出してくれます。

心を込めて歌おう!

みなさんがどんな歌いぶりか気になって、音楽担当のS先生にうかがってみました。

「1年生は、歌う姿勢も気持ちもまっすぐで、歌声にそれが現われています。授業をされていて気持ちがいいです。」とおっしゃっています。

校歌を大きな声で歌うことで、自分を確かめ、友とつながり、中尾中学校を誇らしいものにしていきましょう。それが伝統を守り、発展させることなのです。